

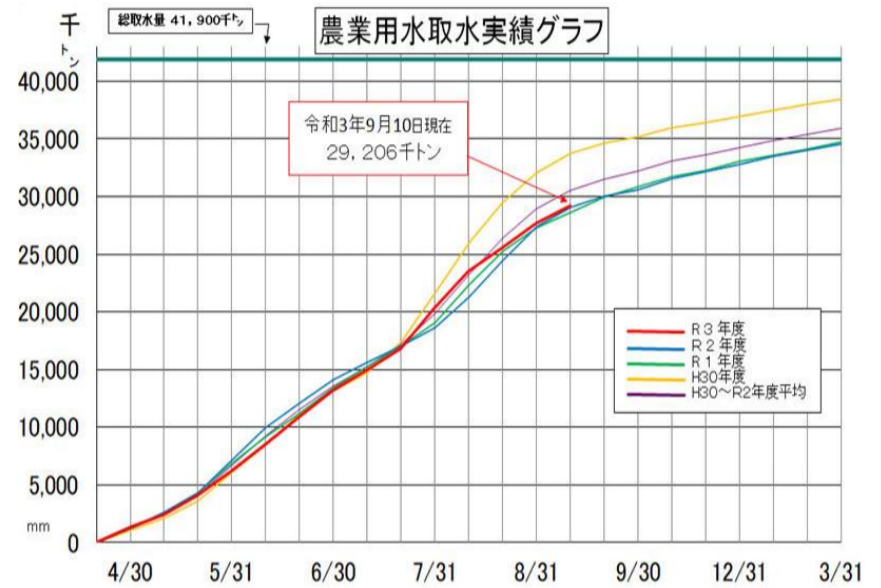
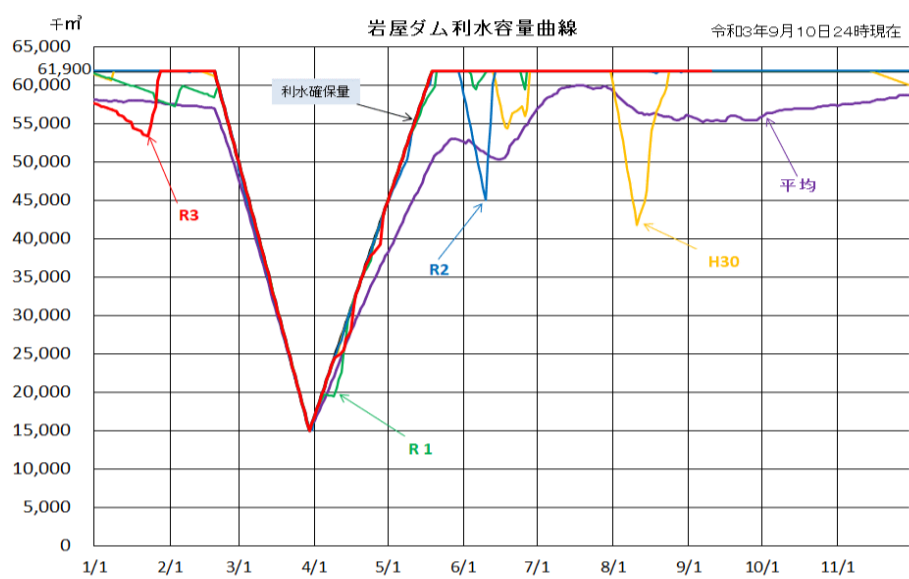


岩屋ダム利水貯水量 6,190万トン (貯水率100%)  
 農業用水取水量 2,921万トン (取水率 69.7%) (ともに9月10日現在)

9月に入り朝、夕は随分涼しくなり、蒸し暑い夏から少しづつ過ごしやすい季節になってきました。8月下旬から9月上旬にかけ、秋雨前線が停滞し梅雨時を思わせる雨や曇りの日が続き、日照不足により農作物の生産に影響したように思われます。また、例年8月下旬から早植えの稲刈りが始まる時期ですが、今年は長雨の影響により一週間から10日ほど遅れたもようです。

さて、水源地である岩屋ダムの利水貯水量は、9月10日現在、6,190万トンと満水状態を保っています。Vカット運用による貯水量は計画通り5月20日には貯水率100%となり、それ以降も周期的に降雨があり貯水率は低下することなく推移しました。

農業用水取水量は9月10日現在、2,921万トン(取水率 69.7%)で、過去3ケ年の平均取水量より129万トン程少なくなっています。これまで受益者の皆様には、地区内水源を最優先に利用していただく等、右岸用水の有効活用にご協力を頂き誠にありがとうございました。



### ◇水稻の生育状況 (8月31日東海農政局公表)

8月15日現在における水稻の生育状況についての調査結果が公表されました。遅場地帯である岐阜県の水稲の生育状況は、6月下旬から7月上旬の日照不足及び8月上中旬の台風の大雨等により「やや不良」と見込まれています。また、普通植えの水稲についても長雨による日照不足が心配されます。



早植えの稲刈風景 (富加町・川辺町地内)

### ◇8月の気象概況 (岐阜地方気象台発表)

中旬から下旬の前半にかけては、前線や湿った空気の影響により曇りや雨の日が多く、12日から15日にかけては前線が本州付近に停滞し、前線活動が活発化したため、記録的な大雨となりました。下旬の後半は、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。各観測地点での降水量を見ますと、どの地点も例年の2倍強の降雨となっており、日最大の数値も増加しています。また、日照時間については平年の数値より減少しており、今年の夏は曇りや雨の日が多くすっきりしない天候でした。

観測地点	気 温 (°C)				降 水 量 (mm)				日照時間 (h)	
	日平均	最 高	最 低	過去の月平均	月 計	日最大	時最大	過去の月平均	月 計	過去の月平均
高 山 市	23.8	36.8	17.9	24.4	534.5	108.0	42.0	197.9	125.7	177.3
大 垣 市	27.7	36.9	22.0	28.1	455.5	139.5	44.5	166.1	149.3	199.9
美濃加茂市	27.1	38.4	21.2	27.5	445.0	157.5	36.0	179.9	162.5	198.8
多治見市	27.1	40.6	20.4	27.7	387.0	141.5	32.0	149.6	171.5	209.4
恵 那 市	25.1	36.9	19.6	25.6	549.0	157.0	47.0	202.2	159.3	199.5

※「過去の月平均」とは、平成3年から令和2年までの30年間の8月各平均としています。

### ◇岩屋ダムの事前放流について

近年の異常豪雨の頻発化・水災害の激甚化を踏まえ、政府から示された「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針」に基づき、木曾川水系の河川管理者とダム管理者、関係利水者との間で昨年度治水協定が締結されました。

この協定は、緊急時において事前放流により、一時的に洪水調節するための容量を利水容量から確保するもので、ダム管理者から事前に連絡が入り実施されます。



### ◇ヤギさん除草隊、今年も大活躍

水資源機構美濃加茂管理所では、今年も蜂屋調整池及び上飯田調整池で、ヤギによる除草を行っています。

これは、除草経費の削減にも繋がりますが、他にも堤体の景観保全や目視確認ができ、管理する上ではとても大切な仕事です。今年もヤギの移動など地元業者に委託し、5月から週5日のペースで5頭のヤギが出動し、除草を行っています。この除草は10月にも予定されています。

